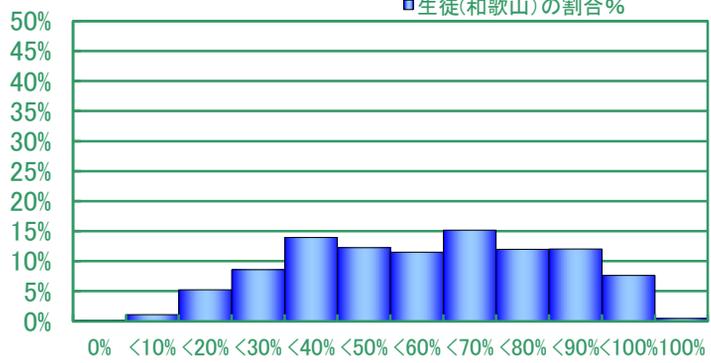


4 各教科の結果

【中学校第1学年 数学】

正答率(%)		
県	全国	差
56.4	56.2	+0.2

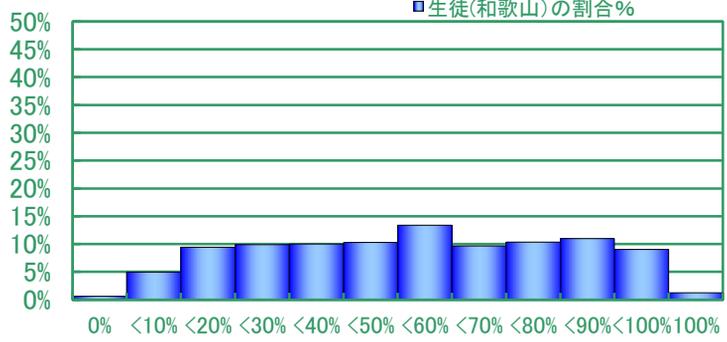


設問番号	領域	出題のねらい	県	全国	差		
			正答率	正答率	-10	0	10
1	数と式	(1) 負の数の大小関係について理解している。	61.1	57.6			3.5
		(2) 絶対値について理解している。	54.7	64.0			-9.3
2	数と式	基準をもとに、正負の数を使って通学時間の差を求めることができる。	61.5	68.3			-6.8
3	数と式	素因数分解ができる。	72.9	73.4			-0.5
4	数と式	(1) 正負の数の加法ができる。	84.7	93.4			-8.7
		(2) 累乗を含む正負の数の乗法ができる。	60.5	58.4			2.1
		(3) 正負の数の除法ができる。	64.4	62.9			1.5
		(4) 1次式の減法ができる。	33.4	28.3			5.1
5	数と式	(1) 文字式の表し方を理解している。	59.5	60.2			-0.7
		(2) 数量の関係を不等式で表すことができる。	36.8	25.6			11.2
6	数と式	1次方程式の等式の性質について理解している。	81.5	93.0			-11.5
7	数と式	(1) 簡単な1次方程式を解くことができる。	61.7	62.7			-1.0
		(2) 分数を含む1次方程式を解くことができる。	32.5	28.2			4.3
8	数と式	比例式を解くことができる。	70.6	65.4			5.2
9	数と式	(1) 具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	78.0	84.5			-6.5
		(2) 文章問題を解くための方程式を立式することができる。	48.6	39.6			9.0
10	関数	(1) 座標平面上の点の座標について理解している。	87.9	96.0			-8.1
		(2) 比例の関係について理解している。	51.6	58.3			-6.7
11	関数	(1) 比例のグラフから、 x と y の関係を表した式を選ぶことができる。	44.0	41.2			2.8
		(2) 反比例の関係にある1組の x と y の値から、 y を x の式で表すことができる。	50.5	48.2			2.3
		(3) 比例の式から、そのグラフ上にある点を選ぶことができる。	48.7	47.2			1.5
		(4) 反比例の式から、そのグラフをかくことができる。	60.9	49.6			11.3
12	関数	具体的な事象について、 y が x に比例していることをもとに、その式を立式することができる。	44.7	35.1			9.6
13	関数	具体的な事象について、 y が x に反比例することをもとに、その式を立式することができる。	51.3	43.2			8.1
14	図形	(1) 2直線の位置関係を正しい記号を使って表すことができる。	75.6	74.9			0.7
		(2) 平行移動させた三角形について、正しいものを選ぶことができる。	84.0	92.3			-8.3
		(3) 対称移動させて重ね合わせることができる四角形について、対応する点の位置を選ぶことができる。	68.5	74.1			-5.6
15	図形	三角形を回転移動させたときの図形を方眼紙を利用して作図することができる。	49.9	48.9			1.0
16	数と式	(1) 基準との差で表された表から、基準の値を判断することができる。	82.9	86.0			-3.1
		(2) 基準との差を正の数、負の数を使って表し、そこから平均を求める方法を説明することができる。	26.0	22.4			3.6
17	関数	(1) 与えられた情報から正しい座標を求めることができる。	11.6	12.5			-0.9
		(2) 比例である関数の特徴について正しく理解している。	27.5	23.3			4.2
		(3) 比例の関係を利用して、20番目までにかかる時間を求める方法を説明することができる。	37.1	36.6			0.5

4 各教科の結果

【中学校第2学年 数学】

正答率(%)		
県	全国	差
52.7	49.6	+3.1



設問番号	領域	出題のねらい	県			全国			差		
			正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率	正答率
1	(1)	数と式	2つの文字を含む式について、式を簡単にし数を代入して式の値を求めることができる。	42.0	32.7						9.3
			等式を変形して、式をある文字について解くことができる。	50.9	40.9						
2	(1)	数と式	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	70.7	67.8						2.9
			単項式の乗法と除法の混じった式の計算ができる。	63.1	54.5						8.6
			分数を含む多項式の計算ができる。	31.9	25.3						6.6
3	(1)	数と式	加減法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	79.5	83.5						-4.0
			代入法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	54.1	45.5						8.6
			$A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。	56.1	52.4						3.7
4		数と式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	50.9	52.9					-2.0	
5		数と式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	35.8	31.7					4.1	
6	(1)	関数	1次関数のグラフから、1次関数の変化の割合を求めることができる。	70.1	77.9						-7.8
			1次関数の式から、xの増加量に対するyの増加量を求めることができる。	55.4	50.9						4.5
7	(1)	関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。	60.2	64.4						-4.2
			1次関数の式から、グラフをかくことができる。	72.1	80.9						-8.8
8	(1)	関数	グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。	59.0	61.1						-2.1
			グラフの切片と、1点の座標から1次関数の式を求めることができる。	43.7	47.8						-4.1
			2元1次方程式の解を座標とする点の全体を表したグラフを選ぶことができる。	32.7	39.0						-6.3
9	(1)	関数	グラフがy軸に平行な方程式を選ぶことができる。	53.6	52.0					1.6	
			2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。	53.8	51.8						2.0
10		関数	標高と山の頂上の気温の関係を式で表すことができる。	34.7	30.1					4.6	
11		関数	原点とある1次関数のx軸、y軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。	40.4	36.0					4.4	
12		図形	図からある角の錯角を選ぶことができる。	54.4	54.3					0.1	
13	(1)	図形	補助線をひいて、平行線と錯角の関係を利用して角の大きさを求めることができる。	67.5	61.0						6.5
			三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。	74.5	69.5						5.0
14		図形	証明の必要性和意味を理解している。	36.7	28.8					7.9	
15	(1)	図形	与えられた事柄から、角が等しくなる根拠を判断することができる。	69.3	64.5						4.8
			与えられた事柄から、正しい三角形の合同条件を判断することができる。	81.7	80.8						0.9
16	(1)	数と式	説明を読み、示された式の別の意味を示すことができる。	42.0	38.6						3.4
			囲んだ数の和が、5の倍数であることの説明を完成することができる。	45.0	34.9						10.1
			文字を使った式から、どのような形で囲んだかを表現することができる。	28.5	18.7						9.8
17	(1)	関数	切片がどのような数量を表しているかを説明することができる。	41.6	31.6					10.0	
			設定を切り替える時間を、グラフを用いて求める方法について、説明することができる。	35.6	26.4						9.2